

VII 事業の成果と特徴

2か年にわたり実施した市制50周年記念事業は、市民の皆さんと協力して取り組むことができたこと、また、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大」という今までに経験のない状況下においても、皆で考え工夫を凝らし記念事業を実施できたことは、今までの取組みにはない、「市制50周年」としての大きな成果と新たな財産にすることができました。

1 成果

- ① 市民の皆さんや市内小中学校から事業アイデアを募集したほか、各種団体等が実施する事業にも市制50周年の冠を付けて実施したことで、まち全体に市制50周年のお祝いムードを高め、一体感を創出することができました。
- ② 2つの記念事業を合わせた全107事業を通じて、市民や各種団体、民間事業者の皆さんにも市制50周年をお祝いしていただくことができました。
- ③ 「市勢要覧」や「史跡めぐり」などを通じて、本市に関する多くの歴史に触れ、先人たちが築き上げた財産を知ることで、ふるさと意識の醸成を図ることができました。
- ④ 「あさびーお祝い事業」だけでなく、「維摩池キャンドルナイト」や「#おわあさフォトコンテスト」など、団体等の皆さんが企画した数多くの「市民お祝い事業」への参加によって、まち全体の魅力を知ることや体感することができ、本市への愛着を育むことができました。
- ⑤ 「市制50周年記念記録映像」や「広報おわりあさひ市制50周年特集号」のほか、「シンポジウム」や全国植樹祭のレガシーをテーマとした「森林公園活用事業」を通じて、これまでの本市のあゆみを未来へと継承することができました。

2 特徴

- ① 新型コロナウイルス感染症の拡大により、中止を余儀なくされた事業が発生しましたが、事業実施期間を2か年に延伸し、また事業内容の見直しや感染対策を行うことで、様々な影響を最小限にとどめることにつながったことに加え、コロナ禍においても、市民の皆さんに元気や勇気を届ける機会を創出することができました。
- ② 市制50周年記念事業からの取組みである「市民お祝い事業」を、企画・実施して下さった市民や各種団体等の皆さんの協力により、今まで以上に多くの方に参加いただくことができ、市制50周年を華やかに彩る事業となりました。

VIII 事業実施による効果

「ともにつなごう あさひの歩み・いま・未来」をテーマに、市民や事業者、各種団体等の皆さんとともに取組んだこの市制50周年記念事業により、本市が多くの皆さんに支えられ成長してきたことを実感するとともに、先人たちの作り上げてきた50年の歴史や文化、そして住環境等の魅力を知り、体感することで「ふるさと尾張旭」を想う心を、改めて育む契機となりました。

また、50周年という節目に、新たに実施した「市民お祝い事業」を通じて、皆で作りに上げていく「協働の大切さ」を確認し、市民・団体等の皆さんの力強さを認識することができました。

本市が積み上げてきた誇るべき「歩み」は、各事業を通じて「いま」を生きる皆さんの手によって広がり、多くの方の心に刻まれることにより、新たな50年という「未来」に引き継いでいく財産となりました。



尾張旭市制50周年記念事業実績報告書
令和4年8月

事務局 尾張旭市企画部企画課
所在地 〒488-8666
愛知県尾張旭市東大道町原田2600-1
電 話 0561-53-2111 (代表)
0561-76-8104 (直通)
F A X 0561-52-5166
Eメール kikaku@city.owariasahi.lg.jp